

2020年4月17日
大阪樟蔭女子大学 学長室

大阪樟蔭女子大学 2020年度春期授業実施にかかる方針について
(2020年4月17日追加)

○ 遠隔授業の設計について

2020年4月13日付追加の当方針にて、「想定される遠隔授業の形態」として以下の3つの形態についてお示しました。

① オンデマンド型(オフタイム)

あらかじめ教材、課題を用意しておき、manabaで学生に提示する。適当な期限を設定して、学生に課題を提出させる。課題提出を以て出席と見做す。従来の「通信教育」のイメージ。

② オンデマンド型(オンタイム)

①と同様、教材、課題を提示しておくが、学生は本来の時間割の時間に manaba にログインして参加。学生は教員が示したタイミングで教材・課題に取り組む。質疑・応答の時間を設け、スレッド機能(テキスト)を用いて、教員は質疑に応答。学生は授業時間内に課題を提出して終了する。

③ 同時双方向型(インターネット会議方式)

Zoom のインターネット会議システムを使った双方向の授業。本来の時間割の時間にオンタイムで行なう。時間内、あるいは、授業時間後に簡単な課題提出を求められることも可。①、②同様 manaba を利用した教材提示を併せて行なうこともできる。

ご担当の授業科目の設計にあたり、いずれの形態を採用されるかは授業科目の目的、実施内容に応じてご担当の先生にご判断いただくものですが、本学の基本的な考え方を以下にお示します。

1. ①から③に向けて、取組みの難易度が上がります。全ての授業科目にリアルタイム双方向性を求めるものではありません。ICT 活用を得意に思いでない先生には、まずは①の方法で教育内容を担保するお取組みをお

願います。

2. ①から③に向けて、学生の通信環境の負荷が高まります。②、③の方法を採用される際には履修者のオンライン環境にご配慮のうえお進めください。

なお、①～③の具体の取組みについての情報や、先生方の取組みへの支援の情報は「manaba「遠隔授業：情報・意見交換」コース」を通じてお届けしてまいります。

「manaba「遠隔授業：情報・意見交換」コース」開設とご利用のお知らせは別途ホームページ上に掲載いたしますので、ぜひご活用ください。